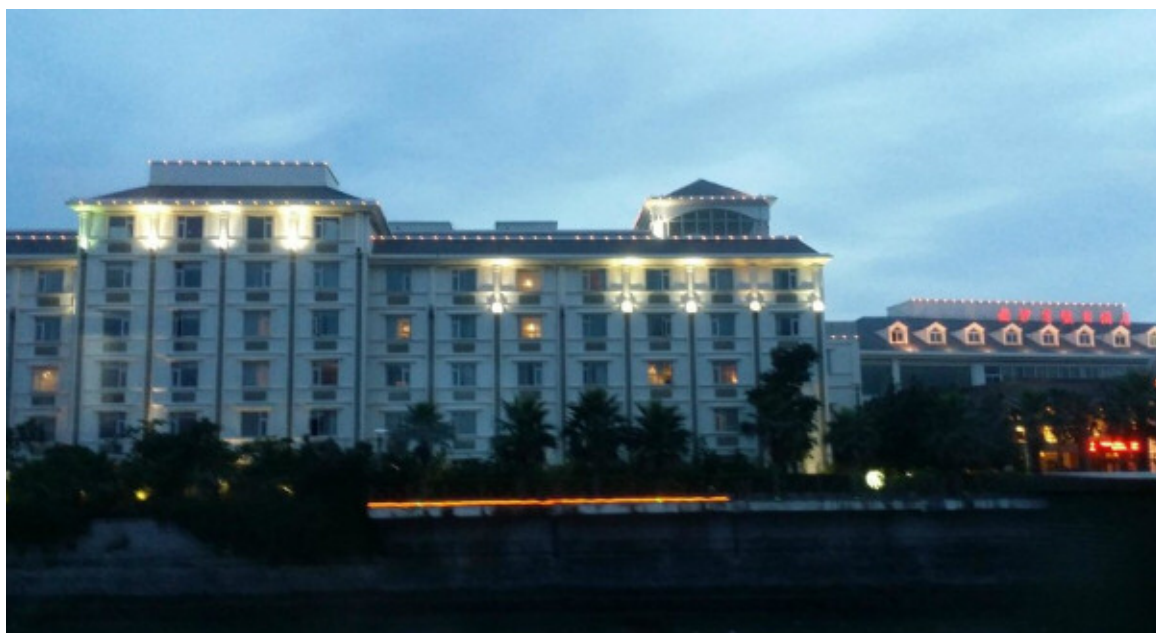


ピンチヒッター・今井の中国通信**どうなる 2018 年福建省墓石工場！？****新年あけましておめでとうございます。**

旧年中は各方面の皆様に変にお世話になり、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。本年が皆様にとって本当に良い一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。そして、今年も日本石材センター(株)に一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年のメルマガ 12 月号でもご報告させて頂きました様に、11 月 12 日の日中石材交流会での値上げ通知後、11 月 30 日には惠安崇武地区の工場 80 数社による統一の「**指導参考価格**」の合意がなされました。



そして、その後も福建省各地区で毎週会議が開催されました。

- ・ 12 月 8 日には福建省石材協会の下部組織である厦門石材商会においても参加企業 20 数社による「**指導参考価格**」の合意が行われました。
- ・ 12 月 12 日には南安石井地区工場でも、15 社参加の値上げ合意が行われました。
- ・ 12 月 20 日には惠安崇武地区で値上げの「**指導参考価格**」が実行されているかの現状の報告会や、更に厳しく実行する為に、各地域において見廻り組の様な組織が成立されました。



- ・ 12 月 25 日には南安康美地区でも、37 社が参加し値上げ合意が行われました。

以上の様に、昨年 12 月発行のメルマガ以降、相次いで各地区で値上げ会議が行われましたが、**今回のメルマガでは、この一連の値上げ会議を経て、福建省における日本向け墓石工場の実働軒数が、以前**

よりも具体的に分かって来たという事を取り上げたいと思います。

これまで日本向け工場の軒数は大雑把な推測でしかわかりませんでした。今回の値上げ会議で署名がなされた各工場の経営者サインリストによって、日本向け墓石工場の軒数がこれまでよりもはっきりとしてきました。

福建省内では **2016年10月**には **205軒**あった、日本向け墓石関連工場が **2017年10月**には **151軒**になったという話が前号のメルマガでも有りましたが、恵安県（崇武含む）においては、更に大きな比率で工場の数は減少しています。**2016年**に **130軒**あったと言われている、恵安崇武の日本向け墓石関連の工場が、**2017年**には **85軒**ほどになったという事がはっきりと分かりました。

単純に言うと、なんと、約 35%も減っているという状態です。 ※実際は会議に参加すらしていない会社もあるでしょうから確かではありませんが・・・

十年以上前、私自身もお得意先様から「恵安崇武には工場は何軒くらいあるの〜？」という質問を良く頂きました。工場に聞くと「**300軒**くらいかな〜」「**350軒**くらいじゃないの」という様な答えでしたが、ここ数年「**200軒**かな〜」になり、昨年は「**100何軒**かな〜」になり、**2017年10月**には **100軒**を切り、**遂に 85軒程度になった**のです。

仮に、**2018年**も前年比同様に、工場が約 **35%減**という同じペースで閉鎖、もしくは日本向けを止めるというならば、恵安崇武の工場は本年 **2018年末**までには**約 50軒**になってしまいます。

ありえないとは思いますが、そのペースなら2019年には30軒ほどになる？
これまた、ありえない話ですが東京オリンピックを迎える2020年には20軒ほどに??



もちろん、そのようなペースで減少し続ける事はないでしょう。

そして、私自身も決して日本向け墓石工場の減少を望んでいるわけではありません。

当然、当社は日本の墓石業界同様に、恵安崇武の石材業界の発展を心より望んでおります。今後もこれまでお世話になった取引先工場と共存共栄を図っていく決意です。

しかしながら、恵安崇武地区の日本向け墓石工場の全体数においては、今後とも減少傾向が続くのではないかと予測されます。今後日本の会社が発注出来る工場がどんどん減っていく可能性もあります・・・。

年初から先行きを懸念するお話しになってしまい申し訳ありません。**でも、ご安心くださいませ！** 日本石材センター(株)には、長年の取引実績と太いパイプで繋がったパートナー工場がございます。

2018 年も引き続きそのパイプを一段と強固なものにしていきます。そして、当社ならではのボリュームと情報量をバックボーンに、2018 年も適正価格で安定した品質の製品をお届けできるよう全力で努力して参ります。

どうなる 2018 年、中国の墓石工場……??

その未来は誰にも分かりません……

しかし、わかっていることが一つあります。当社と当社のパートナー工場は 2018 年もお得意先様のご商売を全力で応援して参ります。

そして、私自身も中国からの仕入に関わる人間として、今後もお得意先様の為にパートナー工場とのつながりを一層強固なものにしていきます、という年始の決意表明でした。

年明けから駄文を最後まで読んで頂き、有難う御座いました。2018 年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

2018/01/01 平井